

29年4月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は42社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	△ 10.6	△ 3.0	△ 8.1
	外材	△ 1.4	△ 5.4	△ 5.7
販売動向	国産材	△ 10.9	△ 6.3	1.7
	外材	△ 4.1	0.0	2.9
在庫動向	国産材	△ 3.1	△ 7.8	△ 5.0
	外材	△ 1.4	△ 17.1	△ 16.7

・国産材製材品の仕入は4月のやや減少が、5月は横ばい、6月はやや減少。外材は4月、5月、6月連続してやや減少。

・国産材製材品の販売は4月が減少、5月はやや減少、6月はやや増加。外材は4月がやや減少、5月、6月がやや増加。

・国産材製材品の在庫は、4月、5月、6月連続してやや減少。外材は4月のやや減少から、5月、6月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	0.0	2.1	△ 2.3
スギ正角(KD)	△ 4.2	△ 2.1	0.0
ヒノキ正角	1.9	5.8	6.3
ヒノキ土台角	1.9	3.8	4.2
米ツガ正角(現地挽)	2.2	6.5	4.5
米ツガ防腐土台角	2.3	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	11.4	4.5	4.5
米マツ平角	3.8	3.8	4.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	17.9	5.4	3.8
ホワイトウッド集成管柱	7.1	1.8	3.8
レッドウッド集成平角	16.7	9.3	1.9
型枠合板(輸入)	0.0	△ 6.3	△ 2.4
針葉樹構造用合板	8.7	△ 2.2	△ 5.0
針葉樹構造用合板(厚物)	7.1	△ 2.4	△ 5.3

・スギ正角(グリーン)の価格は、4月は保合、5月はやや強含み、6月はやや弱含み。KDは4月、5月はやや弱含みから6月は保合へ推移。ヒノキは正角、土台角ともやや強含みで推移。

・現地挽き米ツガ正角及び割物は強含みないしやや強含みで推移。防腐土台角は4月はやや強含み、5月、6月は保合で推移。

・北洋アカマツタルキは4月は強含み、5月はやや強含み、6月は保合へ推移。

・WW集成管柱はやや強含みで推移。RW集成平角は4月は強含み、5月はやや強含み、6月は保合で推移。

・型枠合板(輸入)は保合からやや弱含みで推移。針葉樹合板は4月のやや強含みから5月、6月はやや弱含みで推移。